

要請 新食肉センターが計画の目的にそつたより良い施設になることを、大いに期待するところだが、これまで利用して加工流通業者の一部業務を新会社の高知県食肉センターが担うと聞く。業務を担ってきた業者は、収入の減少と負担の拡大が予想され、新センターへの入居断念や廃業も視野に入れ事業計画を練らなければならぬとも聞く。

そうなるとそもそも誰のための新食肉センターなのかもと考えてしまう。現在のセンターで豚のと畜をしてきた利用者も、これまで高知県の畜産振興を担つてこられた方々だ。そういう方々が、今後も、安心して事業を継続できるよう、県としてのできる限りの支援を行うよう、農業振興部長に強く要請する。

観光振興に向けたよさこい祭りの今後の在り方

よさこい祭りは、ここ10年で大きく飛躍し、札幌のよさこいソーラン祭り、原宿表参道元氣祭りスーパーよさこいなど、全国津々浦々で開催されるようになります。ところが、本家本元である高知のよさこい祭りが、様々な問題を抱えているのではという話が聞こえてきます。県内からは、踊り子の減少でチークの金銭的な負担が大きい。中には追手筋や帯屋町に入つて踊れないといった不公平感も聞かれます。加えて、各競演場を運営する商店街も組合員の減少で資金や人の問題を抱えているようです。

よさこい祭りを県民祭に！

そこでよさこい祭りが高知を代表する夏祭りとしてさらに発展していくために、高知市民祭から県民祭に位置付け、支援してはどうか。

そして、県民祭となつた場合の可能性として、運営資金に困窮す

る遠隔地から参加するチームに対して、高知市や近郊の県有施設に宿泊機能を備えた公的施設がいくつかございます。それぞれ目的に沿つた形で県民の方も利用されており、よさこいチームを優先するというのはなかなか難しいのではないかと思います。

ただ、予約も入つていない状態で、施設の利用条件に沿つた形での宿泊は、十分可能かと考えます。象とした共同使用が可能な貸し出し地方車を各競演場に配置することも検討していただきたい。



う知寄町間で臨時便を運行しており、よさこいが本格的に再開した場合、収入増も検討できます。これから拡充については検討が可能と考えます。

有料棧敷席の空席問題

Q 本部競演場にある有料棧敷席の空席問題に関して、過去にも質問があつたが、今年も何ら変わつたなかつた。

よさこいは、夜さ来い。であり、炎天下ではなく夕方から4日間の開催とすれば、地元の皆さんも昼は働いて夜は見に来れる。

また、4日間の開催となつても、よさこい祭りには何日間出場しなければならないというルールはなく、これまで1日だけ参加している銀行のように、出場する日数について、各チームの自己判断に任せればよいのではないか。

JFLやJリーグも選手の健康を考え、数年後から夏の試合は全てナイターになることが決まりました。観光客も、昼は観光を、夜によさこいを見る。踊り子の健康も考慮できる。さらに経済効果も高まる見は。

A 部長 観光客も、昼は観光を、夜によさこいを見る。踊り子の健康も考慮できる。さらに経済効果も高まる見は。



やすとなれば、演舞場をはじめ運営関係者、参加チームにも相当な負担が生じるのではないかと懸念いたします。空席問題は、解決しなければならない課題であり、運営する高知市観光協会に改善をお願いしてきています。今後、例えば昼は短時間の入れ替え制にしてはどうかとか、利用率を上げていく具体的な方策を引き続き提案し、要請を継続していきたいと思います。

県民祭を濱田知事に問う！

Q よさこい祭りの経済波及効果は100億円にのぼり、取り組み次第では世界に広がる祭りであり、県を挙げておもてなしをしていくべきだと思つ。

来年は、節目となる第70回よさこい祭りであり、これを機に第71回からは高知市と県が共同で取り組む高知市民県民祭としてスター

トしてはどうか。今後、インバウンドを抜きにしての観光振興は考えられない。



やすとなれば、演舞場をはじめ運営関係者、参加チームにも相当な負担が生じるのではないかと懸念いたします。県としては、よさこい祭りの継承発展に向け、できる限りバックアップをしていくこと、特に国内外への情報発信を強力に進め部分を中心として担当し、必要な役割分担をしながら一体となつて祭りを盛り上げていく考えて対応していきたいと考えております。

提案 高知県の顔として、公設ダーチームを運営し、国内観光客の誘致やインバウンド戦略に取り組んではどうでしょうか。我々も議員連盟を立ち上げるなどして、県議会としてもよさこい祭りを盛り上げていきたいと考えておりますので、諸先輩同僚議員の皆様もぜひご協力ください。

たコンセンサスが難しいという中

では、現状で継続していくことが望ましいのではないかと考えております。

県としては、よさこい祭りの継承発展に向け、できる限りバックアップをしていくこと、特に

国内外への情報発信を強力に進め

部分を中心として担当し、必要な

役割分担をしながら一体となつて

祭りを盛り上げていく考えて対応

していきたいと考えております。

県議会としてもよさこい

祭りを盛り上げていくことを

考えております。

県議会としてもよさこ